

2021年2月2日
仙台国際空港株式会社

仙台空港「震災10年メモリアルプロジェクト」の実施について ～東日本大震災から10年、復興支援への感謝・災害の記憶と教訓を伝承します～

仙台国際空港株式会社（所在地：宮城県名取市、代表取締役社長：鳥羽明門）は、2021年3月11日に東日本大震災から10年を迎えるにあたり、国内外からの復興支援への感謝、国内唯一の津波被災空港として伝承すべき災害の記憶や教訓、地域の防災拠点として担う役割をお伝えするため、「震災10年メモリアルプロジェクト」を実施します。

2011年3月11日、仙台空港は津波によって甚大な被害を受けました。ライフラインは寸断され、浸水で孤立した空港には、空港を利用していたお客さまや避難されてきた地域の皆さま、空港や関連施設のスタッフなど約1,700人が取り残され、全員が退避するまでに6日を要しました。自衛隊や米軍の懸命な復旧作業により、震災発生から約1か月後の4月13日には国内線の一部が再開、同年9月には国際定期便が復活し、仙台空港は復興への一歩を踏み出しました。

これまでいただいた国内外からの復興支援への感謝の気持ちと共に、震災を風化させず、その記憶を教訓として未来へ継承し、地域の防災拠点である仙台空港のすべての関係者が一体となり、本プロジェクトをお届けします。

（プロジェクトのスケジュールや内容につきましては次ページをご覧ください。）



津波到達時間を指して止まった時計（2011年3月）

【お問い合わせ先】

仙台国際空港株式会社 管理部 コーポレートグループ 広報

TEL：022-382-0803（広報直通）

仙台空港「東日本大震災10年メモリアルプロジェクト」実施内容

※新型コロナウイルス感染拡大状況や運航状況等により一部内容変更・中止とする場合があります。



写真提供：
 ピアノ所有者・櫻井由美さん

<①復興空港ピアノ>

宮城県七ヶ浜町で被災したグランドピアノを期間限定で設置します。 ※詳細は別紙をご確認ください。

期間：2月19日（金）～3月12日（金）

場所：ターミナルビル1階 センタープラザ



<②仙台空港 復興のあゆみ 特別展示>

当時の声や写真などの資料をもとに、被災から避難生活、復旧作業、暫定運用再開までの33日間の道のりを中心にこれまでの復興のあゆみを振り返ります。また、空港の防災への取り組みをご紹介します。

期間：2月26日（金）～3月14日（日）

場所：ターミナルビル1階 センタープラザ



復興支援ありがとうございます

<③感謝メッセージ展示>

国内外から応援・復興支援いただいた皆さまへ、空港内事業者から感謝のメッセージを展示します。

期間：3月5日（金）～14日（日）

場所：ターミナルビル内各所



写真提供：なとり復興プロジェクト

<④絵灯籠展示>

名取市をはじめ全国の皆さま、航空会社の皆さまによる、復興への想いを描いた手作り絵灯籠を展示します。

期間：3月5日（金）～14日（日）

場所：ターミナルビル1階 センタープラザ付近
 ターミナルビル2階 イベントスペース

<⑤支援感謝のお見送り・お出迎え>

■お見送り

仙台空港に就航している国内線航空会社ほか、関係機関合同で出発便をお見送りします。

実施日：3月11日（木）



■お出迎え

仙台・宮城観光PRキャラクター むすび丸が登場し、仙台空港に到着されたお客様をお出迎えます。

実施日：3月11日（木）～14日（日）



【実施スケジュール】

2月

3月

19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
①復興空港ピアノ ～3/12(金)																							
										②仙台空港 復興のあゆみ 特別展示 ～3/14(日)													
										③感謝メッセージ・④絵灯ろう展示 ～3/14(日)													
										⑤お見送り・お出迎え ～3/14(日)													